

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190600108		
法人名	株式会社 サンライズ		
事業所名	グループホーム ゆつつら一と		
所在地	佐賀県武雄市武雄町大字富岡10101番地3		
自己評価作成日	令和3年8月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和3年8月23日	外部評価確定日	令和3年9月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>自立・快適・安心をグループホーム ゆつつら一とのモットーとして、ゆったりとした静かな環境の中で、『自分のペースで』『自分らしく』『快適に』『安心して』生活していただけるように取り組んでいます。 各棟の処遇理念を実践することにより、ゆつつら一とのモットーがより実現できるように努めています。 介護計画については、個人の生活歴や生活スタイルを理解し、個々を大切に支援できるように努めています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所の周囲は自然に囲まれ、四季の移り変わりを楽しめる環境となっている。利用者の健康と安全を大切に考え、一人一人の状態に応じたケアを提供できるように、日々の生活から得た情報と今まで歩んでこられた人生を理解し、ケアの実践に活かせるように話し合いを行われている。離職率も低く、10年以上勤務されている職員も多く、日頃より職員間でのコミュニケーションも多く、互いに協力し利用者の生活に関わることができる事業所である。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自立・快適・安心をモットーとして、自分のペースで・自分らしく・快適に・安心して生活していただけるよう支援する。	自立・快適・安心をモットーとして、自分のペースで・自分らしく・快適に・安心して生活していただけるよう支援する。	理念の見直しをされているが、開設当初からの理念が根付き、ケアの基本となっている。施設内に掲示され、会議でも理念の考えを基本にケアの在り方を話し合われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の回覧板を回してもらい、地域の情報がとれるようにしている。地域の草はらい等にも参加している。散歩の際に近所の方との会話や、花などを頂くこともある。地域住民の方から施設入居についての相談や、問い合わせを受けることもある。現在はコロナ禍の影響により、保育園児との交流やボランティアの受け入れは中止している。	地区の回覧板を回してもらい、地域の情報がとれるようにしている。地域の草はらい等にも参加している。散歩の際に近所の方との会話や、花などを頂くこともある。地域住民の方から施設入居についての相談や問い合わせを受けることもある。現在はコロナ禍の影響により、保育園児との交流やボランティアの受け入れは中止している。	自治会に加入し、回覧板で地域の情報を収集されている。コロナ禍において、地域との関わりも制限され、現在では保育園児との交流やボランティアの受け入れは中止となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて、認知症についての理解を深めてもらえるよう情報交換をおこなっている。	運営推進会議にて、認知症についての理解を深めてもらえるよう情報交換をおこなっている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染防止のため、2か月毎の会議の開催は見合わせているが、会議資料を作成し関係者の方々にお渡ししている。運営状況や行事等の情報を報告している。	新型コロナウイルス感染防止のため、2か月毎の会議の開催は見合わせているが、会議資料を作成し関係者の方々にお渡ししている。運営状況や行事等の情報を報告している。	以前は、行政や地域の方、家族が会議に参加し話し合われていた。議事録は施設玄関に設置され、誰もが閲覧可能な状態である。現在は、コロナ禍のため、資料を配布し施設の情報を発信している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に市町村の担当者の出席をお願いしており、事業所からの報告や情報交換を行っている。意見や提案をいただくこともある。また、施設入居についての相談や問い合わせを受けることもある。	運営推進会議に市町村の担当者の出席をお願いしており、事業所からの報告や情報交換を行っている。意見や提案をいただくこともある。また、施設入居についての相談や問い合わせを受けることもある。利用者の中に生活保護を受給されている方もおり、担当者との連携をとり、分からないことを相談したり尋ねたりもしている。	事業所または本部が武雄市や大町町の地域包括支援センターと連携を図り施設の空き状況に合わせ、利用者の紹介を受けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	赤外線センサーを活用して危険防止を図り、身体拘束のない施設づくりに努めている。身体拘束委員会を毎月、検討会を2カ月に1回実施。身体拘束解消のため職員間で検討している。止むを得ずベッド柵等を使用する方については、ご家族にも状況を説明し、了承を得て使用。	赤外線センサーを活用して危険防止を図り、身体拘束のない施設づくりに努めている。身体拘束委員会を毎月、検討会を2カ月に1回実施。身体拘束解消のため職員間で検討している。止むを得ずベッド柵等を使用する方については、ご家族にも状況を説明し、了承を得て使用。	身体拘束委員会や研修が行われ、拘束が必要な場合は家族に説明を行い、同意を得た場合のみ実施されている。話し合いを行い、その都度見直しもされる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止委員会を毎月実施し、高齢者虐待への理解を深めている。外部の研修会にも参加し、学んだことや情報を施設内での勉強会にて他職員と共有している。	高齢者虐待防止委員会を毎月実施し、高齢者虐待への理解を深めている。外部の研修会にも参加し、学んだことや情報を施設内での勉強会にて他職員と共有している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部の研修会にも参加し、学んだことや情報を施設内での勉強会にて他職員と共有し理解を深めるようにしている。	外部の研修会にも参加し、学んだことや情報を施設内での勉強会にて他職員と共有し理解を深めるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書にて分かりやすく説明するように心掛けている。内容の変更時には文書で通知している。	契約書・重要事項説明書にて分かりやすく説明するように心掛けている。内容の変更時には文書で通知している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画作成時や来訪時に、意見や要望を尋ねている。職員が電話等で家族へ近況報告を行うこともある。要望などは職員間で共有、検討しサービスに反映している。コロナ禍での面会についての要望を受け、リモート面会を実施。LINEを使用してのテレビ電話を行っている。	介護計画作成時や来訪時に、意見や要望を尋ねている。職員が電話等で家族へ近況報告を行うこともある。要望などは職員間で共有、検討しサービスに反映している。コロナ禍での面会についての要望を受け、リモート面会を実施。LINEを使用してのテレビ電話を行っている。	コロナ禍において、ワクチン接種をされたご家族は時間制限内で面会が可能であるが、感染状況をみて制限範囲を検討されている。面会ができない場合は、電話等で近況報告を行い、意見を収集されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ミーティング(職員会議)を実施し、職員の意見を聞く機会を設けている。また、法人本部の担当者も会議に参加し、意見や要望等を聞いている。	毎月ミーティング(職員会議)を実施し、職員の意見を聞く機会を設けている。また、法人本部の担当者も会議に参加し、意見や要望等を聞いている。	日常より管理者が職員とコミュニケーションを図り、その都度意見や要望を確認されている。必要に応じて、本部担当者の方も個別で話をされることもある。会議では、参加できない職員から事前に情報をもらい、全員の意見が反映できる仕組みとなっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職場環境・条件の整備に努力している。こまめに管理者や職員との面会の機会を持ち、意見や要望を聞き取っている。	代表者は、職場環境・条件の整備に努力している。こまめに管理者や職員との面会の機会を持ち、意見や要望を聞き取っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内や外部の研修会に参加し取り組んでいる。	法人内や外部の研修会に参加し取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	佐賀県認知症グループホーム協会に入会しており、情報交換が出来るようにしている。	佐賀県認知症グループホーム協会に入会しており、情報交換が出来るようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居についての相談を受けた後、入居前に自宅や施設を訪ね本人にお会いし、現在の困りごと等聞きながら信頼関係の構築に努めている。	入居についての相談を受けた後、入居前に自宅や施設を訪ね本人にお会いし、現在の困りごと等聞きながら信頼関係の構築に努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時等に管理者および計画作成担当者が現状の家族の負担や困りごと等を聞き、事業所のサービス内容や費用について説明をおこなっている。	入居相談時等に管理者および計画作成担当者が現状の家族の負担や困りごと等を聞き、事業所のサービス内容や費用について説明をおこなっている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容によっては、様々な選択肢があることを説明し、最も必要とされるサービスの紹介を行っている。	相談内容によっては、様々な選択肢があることを説明し、最も必要とされるサービスの紹介を行っている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と共に、毎日の洗濯物作業や食器洗い等の家事作業を行っている。利用者同士でもお互いをいたわる良い雰囲気は出来ている。利用者が出来ることや得意としていることの発見もある。	利用者と共に、毎日の洗濯物作業や食器洗い等の家事作業を行っている。利用者同士でもお互いをいたわる良い雰囲気は出来ている。利用者が出来ることや得意としていることの発見もある。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者とその家族の関係や気持ちを傾聴し、悩みや喜びを共感出来るように日頃の様子を来訪時や電話、施設新聞等にて報告している。新型コロナウイルス感染防止のため面会は行っていないが、電話での会話やリモート面会の実施により、家族との関係が途切れないようにしている。	利用者とその家族の関係や気持ちを傾聴し、悩みや喜びを共感出来るように日頃の様子を来訪時や電話、施設新聞等にて報告している。新型コロナウイルス感染防止のため面会は行っていないが、電話での会話やリモート面会の実施により、家族との関係が途切れないようにしている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの生活歴や人間関係の把握に努め、普段の会話の中で馴染みの場所や知人・友人の思い出話をしている。知人や友人の方から電話や手紙が来ることもある。	これまでの生活歴や人間関係の把握に努め、普段の会話の中で馴染みの場所や知人・友人の思い出話をしている。	ドライブの際に個別の対応をされ、馴染みの場所に行けるよう計画されている。外泊も自由にでき、お盆や正月には家族の協力のもとに行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、席の位置等に配慮している。職員は利用者同士の間に入り、話題を提供している。	利用者同士の関係を把握し、席の位置等に配慮している。職員は利用者同士の間に入り、話題を提供している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された利用者の家族から連絡があったり、施設から近況を尋ねたりしている。	退所された利用者の家族から連絡があったり、施設から近況を尋ねたりしている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いや移行を把握するよう努めている。意思疎通の困難な方は、家族からの情報や、本人の普段の言動や表情等から意向を汲み取るように努めている。	利用者の思いや移行を把握するよう努めている。意思疎通の困難な方は、家族からの情報や、本人の普段の言動や表情等から意向を汲み取るように努めている。	日常生活の中で職員が聞き出し、経過記録や申し送りにて情報を共有する。カンファレンスの中で得た情報を話し合い、ケアに活かされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者本人・家族からの聞き取りにて状況把握に努めている。1度や2度の聞き取りだけでは見えてこない部分もあるので、随時聞き取りを続けている。	利用者本人・家族からの聞き取りにて状況把握に努めている。1度や2度の聞き取りだけでは見えてこない部分もあるので、随時聞き取りを続けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者それぞれの1日の過ごし方を観察し、本人の出来る事・出来ないことや心身の状況を把握し、個々のペースを大切にしている。	利用者それぞれの1日の過ごし方を観察し、本人の出来る事・出来ないことや心身の状況を把握し、個々のペースを大切にしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族の意見や意向、かかりつけ医の意見、介護職員や看護職員の意見を聞きながら介護計画を作成している。本人の状態や心身の変化に合わせて介護計画を見直しを行い、カンファレンスでは夜勤専門の職員や調理担当の職員にも参加してもらい、意見や情報を聞き、計画作成に反映している。	利用者・家族の意見や意向、かかりつけ医の意見、介護職員や看護職員の意見を聞きながら介護計画を作成している。本人の状態や心身の変化に合わせて介護計画を見直しを行い、カンファレンスでは夜勤専門の職員や調理担当の職員にも参加してもらい、意見や情報を聞き、計画作成に反映している。	計画作成担当者が中心となるが、多職種協同で計画を立案し、家族に説明をされている。5か月ごとに基本情報を更新することでケアを統一し、共有している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録について、計画作成担当者は利用者の大切なアセスメントとして位置づけ、情報収集にも活用している。	介護記録について、計画作成担当者は利用者の大切なアセスメントとして位置づけ、情報収集にも活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況や、利用者本人・家族の意向を汲んで、臨機応変な対応を心掛けている。	その時々状況や、利用者本人・家族の意向を汲んで、臨機応変な対応を心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	防災に関する連携として、避難場所を近隣のお寺にお願いしたり、地域の消防団との連携を取っている。施設近くの川良地区の運動公園では、地域の方との交流も出来る。	防災に関する連携として、避難場所を近隣のお寺にお願いしたり、地域の消防団との連携を取っている。施設近くの川良地区の運動公園では、地域の方との交流も出来る。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後の主治医の変更は利用者と家族の意向に沿っているが、状況に応じてこちらから提案することもある。以前からのかかりつけ医からの情報提供もスムーズに行えている。月2回の定期往診のほか、異常時には随時相談や受診をし適切な医療を受けられるように支援している。	入居後の主治医の変更は利用者と家族の意向に沿っているが、状況に応じてこちらから提案することもある。以前からのかかりつけ医からの情報提供もスムーズに行えている。月2回の定期往診のほか、異常時には随時相談や受診をし適切な医療を受けられるように支援している。	協力医療機関とは、24時間365日連絡が取れる状況となっている。主治医の指示にて受診が必要な時は職員が対応し、内容は電話にてご家族に報告される。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の健康は看護師だけでなく職員全体で守ろうという意識を持ち、日々の情報交換や状態変化の早期発見・早期対応に努めている。看護師の出勤日以外や夜間帯でも連絡がとれるようにしており、状況に応じて電話での指示を受けたり、看護師が駆けつけ対応することもある。	利用者の健康は看護師だけでなく職員全体で守ろうという意識を持ち、日々の情報交換や状態変化の早期発見・早期対応に努めている。看護師の出勤日以外や夜間帯でも連絡がとれるようにしており、状況に応じて電話での指示を受けたり、看護師が駆けつけ対応することもある。	/	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院する際の医療機関への情報提供や、職員が面会に行った際に情報の把握を行っている。面会が困難な現在の状況では、電話で様子を尋ね、情報把握が出来るようにしている。	利用者が入院する際の医療機関への情報提供や、職員が面会に行った際に情報の把握を行っている。面会が困難な現在の状況では、電話で様子を尋ね、情報把握が出来るようにしている。	/	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者が重度化した場合における対応に関わる指針について、家族に説明し同意を得ている。 緊急対応協力機関：新武雄病院	利用者が重度化した場合における対応に関わる指針について、家族に説明し同意を得ている。 緊急対応協力機関：新武雄病院	契約時より、重度化した場合の説明をされている。主治医と連携を図り、医療が必要となる場合は療養病院などを紹介されている。 看取りは実施されていない。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	武雄消防署員より、応急手当についての研修を受けている。夜間の緊急マニュアルも整備している。AEDも準備しており、使用方法の研修も随時行っている。	武雄消防署員より、応急手当についての研修を受けている。夜間の緊急マニュアルも整備している。AEDも準備しており、使用方法の研修も随時行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災の避難訓練及び消火訓練を年2回、また地震や水害等自然災害に対する訓練も行っている。火災訓練での避難場所は、近隣のお寺に協力を得ている。地域から避難時の協力の申し出もあっている。	火災の避難訓練及び消火訓練を年2回、また地震や水害等自然災害に対する訓練も行っている。火災訓練での避難場所は、近隣のお寺に協力を得ている。地域から避難時の協力の申し出もあっている。	訓練等は実施されており、地域の消防団などの協力も得ることができている。本部の協力体制もあるが、近年は災害が多くなっていることから更なる連携強化を図るように検討されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は利用者個々のプライバシーに配慮し、利用者それぞれに適した声掛けや介助を心掛けている。	職員は利用者個々のプライバシーに配慮し、利用者それぞれに適した声掛けや介助を心掛けている。	羞恥心に配慮したコミュニケーションを意識し、気になることがあれば互いに注意できる環境作りをされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本人の意思を尊重し、日常生活の中の小さなことでも自己決定が出来るように支援している。	利用者本人の意思を尊重し、日常生活の中の小さなことでも自己決定が出来るように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者が自分のペースで、自分らしく、快適に安心して生活していただけるよう努めている。	利用者が自分のペースで、自分らしく、快適に安心して生活していただけるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の整容や外出時の服装、普段の衣服の組み合わせ等にも気を配るようにしている。自己決定が出来る利用者にはどの衣服を着用するか、ご自分で決めていただくこともある。	朝の整容や外出時の服装、普段の衣服の組み合わせ等にも気を配るようにしている。自己決定が出来る利用者にはどの衣服を着用するか、ご自分で決めていただくこともある。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々の好き嫌いや食事のとり方の把握に努めている。栄養士が考えた季節感のある旬の食材を利用したメニューや、季節のイベントに応じたメニューを取り入れている。利用者の中には、食器洗いやお盆拭き、テーブル拭きをして下さる方もいる。	利用者個々の好き嫌いや食事のとり方の把握に努めている。栄養士が考えた季節感のある旬の食材を利用したメニューや、季節のイベントに応じたメニューを取り入れている。利用者の中には、食器洗いやお盆拭き、テーブル拭きをして下さる方もいる。	常食、刻み、ソフト(肉、魚のみ)、ミキサーを提供することができ、利用者の状況に応じた対応をされている。毎月1日は赤飯と刺身が提供され、食事を楽しむことができるようになっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士により1日1600kcalで献立が作成されている。個々の食事や水分摂取量をチェックしており、食事及び水分の確保が出来るよう支援している。個々に応じて食事形態をキザミ食やミキサー食、水分にトロミをつける等して提供している。	栄養士により1日1600kcalで献立が作成されている。個々の食事や水分摂取量をチェックしており、食事及び水分の確保が出来るよう支援している。個々に応じて食事形態をキザミ食やミキサー食、水分にトロミをつける等して提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨き支援を行っている。義歯を使用されている利用者は、夜間帯に義歯を預かり洗浄剤につけている。歯磨きやうがい困難な方には口腔内用のウェットティッシュでふき取り介助をおこなっている。	毎食後、歯磨き支援を行っている。義歯を使用されている利用者は、夜間帯に義歯を預かり洗浄剤につけている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排泄リズムを把握し、個々に応じた排泄介助を行っている。日中は2/3の利用者がトイレで排泄が出来ている。	利用者の排泄リズムを把握し、個々に応じた排泄介助を行っている。日中は2/3の利用者がトイレで排泄が出来ている。	排泄パターンを把握し時間での誘導、または利用者の行動より排泄のタイミングを図り誘導することで、排泄能力の維持ができています。パットの使用量を意識することで、家族の金銭的な負担を減らせるように意識したケアに取り組まれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の有無を毎日確認し、水分補給や適度な運動、下剤も使用しながら排便コントロールをおこなっている。	排便の有無を毎日確認し、水分補給や適度な運動、下剤も使用しながら排便コントロールをおこなっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	夏場は週3回、冬場は週2回の入浴の機会を基本として設けている。利用者の希望や体調に応じて、入浴のタイミングに配慮している。	夏場は週3回、冬場は週2回の入浴の機会を基本として設けている。利用者の希望や体調に応じて、入浴のタイミングに配慮している。	入浴は柔軟に対応され、拒否があった場合には時間や日にちを変更し対応されている。個浴が準備されており、状態に応じてシャワー浴で対応されることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分のペースで好きなタイミングで休息してもらっている。状況に応じてこちらから休息の時間を設けることを提案することもある。	自分のペースで好きなタイミングで休息してもらっている。状況に応じてこちらから休息の時間を設けることを提案することもある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主に看護師が管理し、服用方法や副作用等について職員に説明を行っている。管理についてはマニュアルを作成し事故防止に努めている。誤薬事故があった場合には看護師、主治医へ報告し、医師より指示をもらい対応するようにしている。	主に看護師が管理し、服用方法や副作用等について職員に説明を行っている。管理についてはマニュアルを作成し事故防止に努めている。誤薬事故があった場合には看護師、主治医へ報告し、医師より指示をもらい対応するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者個々の力量の把握に努め、その人に合わせた役割作りを行っている。利用者個々の趣味への関心を示しサポートしている。職員と共に壁面飾り等の作品を制作される方もいる。	利用者個々の力量の把握に努め、その人に合わせた役割作りを行っている。利用者個々の趣味への関心を示しサポートしている。職員と共に壁面飾り等の作品を制作される方もいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見等の季節を感じられるような外出支援をおこなっている。また、天気の良い日は施設敷地内での外気浴や近所への散歩、ドライブに出かけたりしている。	花見等の季節を感じられるような外出支援をおこなっている。また、天気の良い日は施設敷地内での外気浴や近所への散歩、ドライブに出かけたりしている。	近所に散歩に行き地域の方と交流を図られている。野菜を頂けることもある。季節に応じた外出や個別での外出も計画されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者個人で金銭を管理している方はいない。欲しい物や必要なものがある場合は家族へ連絡し購入をお願いしたり、個人の預り金より職員が購入している。	いくらかの金銭を手元にとっておられる方もおり、散歩の際に少しの買い物やされたこともあった。その他の方は欲しい物や必要なものがある場合は家族へ連絡し購入をお願いしたり、個人の預り金より職員が購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話をしてもらっている。家族から電話がかかってくることも多く、通話やテレビ電話でやりとりしてもらっている。家族や知人から定期的に手紙が送られてくる方もいる。	希望があれば電話をもらっている。家族から電話がかかってくることも多く、通話やテレビ電話でやりとりしてもらっている。家族から定期的に絵葉書が送られてくる方もいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設の壁を利用して壁面飾り等で季節感を出すようにしている。また、撮影した写真も利用者の目にとまる場所へ掲示している。居間には椅子やテレビを置き、日頃からテレビ視聴されている。中央のテラスや付近の廊下で日光浴をされる方もいる。	施設の壁を利用して壁面飾り等で季節感を出すようにしている。また、撮影した写真も利用者の目にとまる場所へ掲示している。居間には椅子やテレビを置き、日頃からテレビ視聴されている。中央のテラスや付近の廊下で日光浴をされる方もいる。	食事スペースと団らんスペースが分かれており、生活にメリハリを付けるようにされている。ユニット間を結ぶ渡り廊下があり、行事の際は合同で取り組まれている。利用者の作品や写真などを壁に飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂と居間を活用することにより、1人でも、気の合った利用者同士でも思い思いに過ごせる環境が出来ている。利用者個々がマイペースに過ごされている。	食堂と居間を活用することにより、1人でも、気の合った利用者同士でも思い思いに過ごせる環境が出来ている。利用者個々がマイペースに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は基本的に利用者本人や家族の好みで自由にしてもらっている。家族の写真や馴染みの私物を持ち込まれている方もおり、利用者が居心地よく過ごせる居室作りを目指している。	居室は基本的に利用者本人や家族の好みで自由にしてもらっている。家族の写真や馴染みの私物、テレビを持ち込まれている方もおり、利用者が居心地よく過ごせる居室作りを目指している。	ベッドとタンスは備え付けてあり、その他は準備する必要がある。テレビや仏壇などを自由に持ち込める仕組みとなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	そっと見守り、様子の観察をしながら、必要な時に手助けが出来るようにしている。	そっと見守り、様子の観察をしながら、必要な時に手助けが出来るようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない